

支え合いのまち 稲毛

稲毛区地域福祉計画推進協議会だより No. 20

平成28年 3月31日発行

編集：稲毛区地域福祉計画推進協議会事務局

稲毛区穴川 4-12-4（稲毛保健福祉センター内）

TEL：284-6282 FAX：284-6193

稲毛区支え合いのまち推進計画

～第3期稲毛区地域福祉計画（平成27～29年度）～

活動内容 ZoomUp!

稲毛区の地域福祉計画において、各地区で取り組んでいる様々な活動をご紹介しますコーナー。

今回は2地区を取り上げてみたいと思います。

ハロウィンパーティ

ー弥生地区部会エリアにおける地域交流・異世代交流ー

今年新たな地域交流・異世代交流の場として取り組んだ、弥生地区部会エリアの『ハロウィンパーティ』をご紹介します。

ハロウィンは欧米（キリスト教圏）にまつわる行事でありながら、今や日本古来の節分などと同様に、若い世代を中心に「楽しいイベント」として広まりつつある催しです。

弥生地区部会のハロウィンパーティは、エリア内の若いお母さんの発案から始まったイベントで、地区部会のスタッフや地域のボランティアが協力し、事前の準備から会場の手配など、地域が協力しあって実現したものです。

当日は、地域の幅広い世代が集い、楽しい交流の場となっていました。

イベントの主役となる子どもたちは、可愛らしい衣装をまとい、お父さんやお母さんに連れられ

て会場を訪れ、そこで迎えるのは、子どもたちからするとおじいちゃんやおばあちゃんほどの年齢であろう地域の高齢者の方々や、地区部会スタッフやボランティアの皆さんです。



みんなで集合！

簡単に手作りできるハロウィンマスコットコーナーやゲームなどで盛り上がり、会場周辺の地域内をぐりと一回り。

思い思いの衣装に身を包んだ可愛らしい一団は、街角の要所要所で迎えるスタッフに「Trick or Treat!？」の声をかけ、お菓子をもらって帰ります。

住民からの発案によって幅広い世代が準備から運営、そして参加しての楽しいイベントは、人とのつながりが希薄化する中、異世代間の交流を繋ぎ広げる架け橋となりました。

街角で「Trick or Treat!？」の可愛い声。



「あいさつ・声かけ運動」

—小中台東・西エリアにおける“挨拶から始まる地域との関わり”—

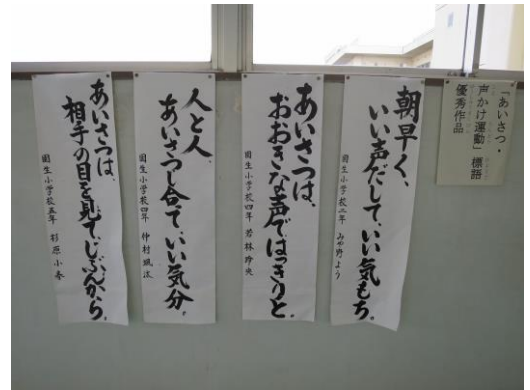
核家族化の定着と共働き世帯の増加により、それまでは日常的に行われていた地域内（ご近所同士）のお付き合いの機会も失われつつあり、それに伴って住民同士の、地域との関わりが希薄になってきています。

そうした中、小中台東・西地区部会エリアでは昨年11月に両地区が合同で「小中台東西社協まつり」を開催し、地域住民同士の交流を図るとともに、まつりの企画として、両地区のエリア内小学校（園生小学校、小中台小学校、柏台小学校、小中台南小学校、）の協力により「あいさつ・声かけ運動」標語募集を行いました。

児童から寄せられた作品は各校ごとに優秀作品を選定し、東西社協まつりにおいて発表・表彰を行いました。

こうした活動を通じて児童やその家族、学校から日常のあいさつ運動を広め、地域の中で気軽に声をかけあえる環境づくりを推進しています。

優秀作品の掲示（園生小学校）



園生小学校

- 「朝早くいい声だしていい気持ち」
二年 宮野 陽
- 「人と人 あいさつし合っていい気分」
四年 仲村 颯汰
- 「あいさつはおおきな声ではっきりと」
四年 若林 玲央
- 「あいさつは相手の目を見てじぶんから」
五年 杉原 小春

小中台小学校

- 「めぐる、めぐって、まためぐる。一つの“勇気”は みんなの“ありがとう”」
六年 岡田 なぎさ
- 「あいさつは笑顔のたねをまいていく」
三年 山崎 若菜
- 「おかあさん おはよう はやおきたよ」
一年 佐藤 翔悟
- 「じぶんから あいさつすればウキウキだ」
一年 海寶 梨紗

柏台小学校

- 「あいさつをすると広がる笑顔の輪」
六年 井原 あきみ
- 「あいさつは笑顔になれる第一歩」
四年 下津 竜希
- 「じぶんからすすんであいさつ いいきもち」
一年 張 謝筑

小中台南小学校

- 「こんにちは 笑顔がとびかう あいさつを」
六年 井田 明里
- 「あいさつは友達ふえるあいことば」
四年 井上 初奈
- 「こんにちは 気持ちをこめる にこにこで」
一年 小林 亮